

マーク・ハリソン博士講演会と合同研究会

# グローバル経済 の発展と伝染病

特別講師: Mark Harrison 氏 (オックスフォード大学教授)

日時: 2013年4月15日(月) 16:30~18:00

場所: 広島大学大学院総合科学研究科J306(J棟3階)



## ■講師紹介

ハリソン氏は、現在、オックスフォード大学歴史学部の教授であり、同大学にて医学史ウェルカムユニットの代表もされています。医学史(History of Medicine)がご専門ですが、経済発展と伝染病の関係、そして公衆衛生のあり方などについて、多数の著作を発表され、その分野を代表する研究者として、世界的に有名です。医学史は非常に学際的な分野で、自然科学と社会科学とにまたがる領域です。また、伝染病は近現代社会が抱える大きなリスクの一つであり、戦争との深いつながりがあります。さらに、ハリソン先生はミッシェル・フーコーの認識を批判的に検討され、社会史におけるフーコーの影響力を意識しながら、ご自分の学説を鍛えてこられました。

特別講師: Mark Harrison 氏

写真はオックスフォード大学のwebサイトより転載  
<http://www.history.ox.ac.uk/faculty/staff/profile/harrison-1.html>

1時間の講演&30分間のディスカッションを予定しています。  
講演会は英語で行われます。必要に応じて通訳があります。

### 【実施責任者】

広島大学大学院総合科学研究科教授 布川弘

### 【お問合せ先】

広島大学大学院総合科学研究科 RM事務室

TEL: 082-424-6518, E-mail: sen@hiroshima-u.ac.jp

参加費無料  
事前申込不要

学内・学外を問わず、  
多くの方のご参加を  
お待ちしております。